

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・前年に比べ、平日の買物客が多い。また、給料日前 の平日も遅くまで街中に人が多く、街全体がにぎわっ ている。
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	販売量の動き	・高額商品の売行きがやや持ち直してきた。
		百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・実質売上高ではなく、消費マインドがかなり良く なっている。
		百貨店（販売促 進担当）	販売量の動き	・不景気感はまだあるが、売上は前年実績を上回っ ており、好調である。
		百貨店（売場担 当）	販売量の動き	・一昨年前にオープンした大型店の影響で昨年は大変 苦戦したが、ようやく下げ止まり、ほぼ一前年並みと なった。
		スーパー（店 長）	単価の動き	・恒例の婦人服セールでは、やや客単価が上がってき ている。ミセスの場合は、特にTシャツやブラウス等 で600円～800円の単価上昇がみられる。「安い物」 から「いい物」を求める傾向にある。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・150万円以下の契約が増えつつあり、来場客も多 くなっている。
		観光型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・法人宴席は少し落ちているが、個人宴席（披露宴・ レストラン利用・宿泊等）は前年に比べてかなり伸び ている。
		旅行代理店（従 業員）	販売量の動き	・SARSの影響も少し沈静化し、海外旅行の問い合 わせが少しずつ増えている。
		旅行代理店（従 業員）	単価の動き	・イラク戦争、SARSの影響で業績が悪かったが、 ようやく回復のきざしがみえる。
設計事務所（所 長）	競争相手の様子	・それぞれの設計事務所が企画や設計を受注して おり、少しずつ良くなっている。		
変わらない	商店街（組合職 員）	お客様の様子	・スーパーなどで賞味期限間近の半額食材がよく売 れており、節約の様子があがえる。	
	百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・前年の販売実績をクリアすることが難しい状態が続 いている。	
	百貨店（売場担 当）	来客数の動き	・一点単価と客単価はそれぞれ前年実績をそれぞれ上 回っている。しかし購買率は1.2%減少しているほ か、入店客数は前年比で95.2%となり、前月比で 3.2%落ちている。売上は前年比97%、売上数量は 90%前半で推移している。部門別では食品、身回り、 紳士、子ども向け商品は前年並み、家庭用品は不調で ある。外商関係の売上は落込みが大きい。	
	スーパー（店 長）	来客数の動き	・単価の下落が相変わらず続いているが、客の増減は ない。全体的には停滞している。	
	スーパー（店 長）	単価の動き	・客単価は下落しているが、客数はやや回復傾向にあ る。父の日関連商品に関しては、一点単価は変わらな いが、客単価が下落している。組合せの購入が少なく なっている。	
	コンビニ（エリ ア担当）	単価の動き	・たばこ増税前の需要は前回98年11月末に比べて大 きな動きがなく、駆け込み需要はあまり期待できない。	
	コンビニ（店 長）	販売量の動き	・九州新幹線の工事が始まったが、インパクトが弱 く、まだ効果はみられない。これから本格的な工事 になるため、売上増を期待している。	
	乗用車販売店 （管理担当）	来客数の動き	・サービス、整備、車検、点検、中古車の販売は好調 であるが、新車のイベントの来場は以前に比べて盛況 ではない。自動車整備のイベントでは来客が多い。	
	旅行代理店（業 務担当）	販売量の動き	・海外旅行は例年の半分以下である。一方、国内旅行 は前年並みを維持している。	
	通信会社（企画 担当）	販売量の動き	・販売量が一向に上向かない。ここ数か月、横ばいが 続いている。	
ゴルフ場（支配 人）	来客数の動き	・ゴルフシーズン到来にもかかわらず、客足が伸びな い。		
やや悪く なっている	商店街（代表 者）	来客数の動き	・お得意様もなかなか来店しない状況である。	
	商店街（代表 者）	来客数の動き	・夕方の客の出足が悪いため、当商店街では「4時の 市」というイベントを行っているが、あまり効果が出 ない。ボーナスが出たにもかかわらず財布のひもは固 く、消費につながっていない。	

	商店街（代表者）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> ・中心商店街は老舗が多く、中高年者をターゲットに商売を続けてきたが、近年これらの店が後継者不足等から消費者のニーズに十分対応できなくなり、業務を縮小したり、閉鎖したりしている。また、九州新幹線の開業を目前に控え、駅前の大型店開業に大きな危機感を抱いている。若者相手の店舗が次々に進出する傾向にあるが、賃貸条件が厳しいため、空き店舗はなかなか埋まらない。 	
	商店街（代表者）	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・ボーナス商戦が全く盛り上がっていない。 	
	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・来店頻度が減少しており、1週間に3～4回の人、2～3回になっている。また来客数も伸びていない。一向に良くなる気配はない。 	
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・来店客数が前年比5%増と落ち着き、複合商業施設のオープン相乗効果が一段落した。クリアランスセールを昨年は6月に行っていたが、今年は7月に繰り下げたため、買い控え状態にある。 	
	百貨店（営業担当）	単価の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・入店、レジ客数は、前年並みであるが、客単価が落ちている。先月に続き食品も厳しく、持ち直す気配は薄い。 	
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・セールへの反応が大きい。特にヤングアパレルで売値下げに対する反応が大きい。 	
	百貨店（営業企画担当）	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・3～5%程度の、慢性的な客数の減少が続いている。 	
	スーパー（経理担当）	単価の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・販売量が目立って減少しており、客数はほぼ横ばいである。客単価の減少に歯止めがかからない。 	
	コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の業績悪化による賞与の不安定さに加えて、たばこ、発泡酒の増税により、消費マインドは冷えきっている。このままでは売上増は望めない。 	
	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・相変わらず商店街の来客数は閑散としているが、得意客の動きが以前より動き出しているように思える。しかし景気はやはり良くなっていない。 	
	家電量販店（店員）	競争相手の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・以前に比べてチラシの回数を増やす店があり、生き残りに必死である。ポイントや購入得点を増やす等のアピールがエスカレートしている。それでも利益が出ないため、リストラや経費節減を行っている。 	
	住関連専門店（経営者）	競争相手の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・商圈内で店じまいが続いている。アウトレット店が6月オープンしたので競争はますます厳しくなっている。今月は前年並みにとどまっている。 	
	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・来客数も売上もあまり伸びなかった。予約もあまり入っていない。 	
	都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊の客が出張日程を短くする、あるいは日帰りにするという傾向がさらに強くなっている。 	
	タクシー運転手	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・公務員のボーナス支給日以降、以前は買物や歓楽街に出かけるといった行動が多かったが、今年は普段と変わらない。 	
	悪くなっている	百貨店（売場主任）	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・オープン以来初めて、入店客数が前年の90%を下回った。
		自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・来店客数は変わらないが、買上客数と客単価が低い。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・大手の半導体関連企業からは、今まで途切れていた発注が継続できるという話も聞かれ、非常に良くなってきた。
	変わらない	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・鶏肉は、中国からの輸入ストップによりタイ、ブラジル産の値段が高騰している。しかし国産品は依然として厳しい状況である。消費者の景気に対する不安心理が働いているのか価格、量とも伸びていない。
		建設業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・公共事業の減少、入札制度の改革、景気の先行き不透明から民間の設備投資が鈍化している。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・出荷量が落ち、在庫量が増えてきた。全体的に大きな変化はない。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・融資においては前向きな資金需要が乏しい。
	経営コンサルタント	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・最近、大きな受注の話を目にするのが多くなった。今までなかったことなので、若干良くなっている。 	

	やや悪くなっている	輸送用機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・単価の下落が相変わらず続いている。客の増減はない。全体的に停滞している。
	悪くなっている	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・今月は複数の客から値下げ要求がきた。売行きが悪いことから販売促進に力を入れており、倉庫や運送費にしわよせがきている。
		経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・酒屋の客の商圏がだんだん狭まっている。当初は10キロ商圏でチラシをまいていたが、今では3キロ商圏にしても全く客が来ない。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（総務担当）	求人数の動き	・情報誌・情報サイトの掲載件数が前年を上回っている。雇用に積極的な企業が増加している。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・人員増強を行うほどの活況を呈している事業所は見当たらない。よって派遣社員の商談が進まない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・製造業の求人が若干増えたように感じるが、総量としては変わらない。
		民間職業紹介機関（支店長）	求人数の動き	・新規求人は、一部の業界（コールセンター、エレクトロニクス）を除いて停滞している。また、欠員が生じた場合でも積極的に補充する姿勢は見られない。それに加えて価格の下げ圧力は依然強く、ボリュームディスカウント（大量発注による単価の切下げ）要請が日常化しつつある。プラス・マイナスで相殺といった感触である。
やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・SARSの影響が大きい。	
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・県内大手のパチンコ店が2社倒産し、景気に左右されないと言われるパチンコ業界にも不況の影響が及んでおり、雇用の情勢は厳しい。	
	民間職業紹介機関（職員）	求職者数の動き	・全体的に求職者数の動きが鈍くなってきている。業界に限らずすべてに関して高齢者層の登録のみ目立つ中で、中堅クラス、アッパーミドルクラスの人材の登録が非常に少なくなってきている。	
悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・電話営業のパート募集が激減した。各企業とも売上低迷のため、電話営業スタッフの人員削減を行っている。	